



# 今日は何の日？

日本には、国民の祝日や年中行事を祝う日だけでなく、毎日がさまざまな記念日に制定されています。このコーナーでは、私たちが何気なく過ごしている日常が何の記念日でどのような由来があるのかを町内の人物や物事とともに紹介します。

## 双子の日

1874年、双子に関する太政官の布告が出されたことを記念して制定された記念日です。この布告以降、先に生まれた方が兄または姉で後に生まれた方が弟または妹と定義されました。

今月は「双子の日」にちなんで町内の仲良しな双子きょうだい2組を紹介します。



Interview **沖田 玄さん(右) 花心さん(左)**

①双子に生まれて良かったと思うことは？

お互いに勉強を教え合ったりできるところ！自分が得意な問題を教えたり苦手な問題は教わって一緒に勉強できるよ！

②双子に生まれて大変だと思うことは？

一緒にいる時間が多いから友だちが知らない秘密をお互い何でも知っていて隠しごとができないこと！

③似ていると感じるところは？

性別が違うから顔はあまり似ていないけど眉毛が似ています！あとは、考えていることが同じときがよくあります！

Interview **船木 莉音さん(右) 茉莉さん(左)**

①双子に生まれて良かったと思うことは？

いつでも一緒に遊べる場所！学校から帰った後とか休みの日にも家で一緒に遊べるから楽しい！

②双子に生まれて大変だと思うことは？

好きなものやハマっているゲームが同じだから遊んでいるときに物の取り合いになってけんかしてしまうこと！

③似ていると感じるところは？

同じ鼻歌を歌い出すことがあったり息ぴったり！小さい頃は同じ服を着て同じ髪型をしていたからみんなに似ていると言われてたよ！



あとがき

◆今年、コロナ禍の影響により激動の1年となりました。また、多くのイベントや行事が中止・縮小となり、広報担当としてもお伝えする情報を模索する日々でした。◆コロナ関連の情報を効果的・継続的に発信することや、行われたイベントなどの背景をしっかりとお伝えすること、また、文化センターピアノ無料開放、保健推進員さんオースメレシピの料理実践、博物館実習・看護学実習密着、感染対策で手を洗う保育所の子どもたちなどを取材し、少し掘り下げた感性で情報をお伝えすることを意識しました。少しでも今までのなかった情報がお伝えできていれば嬉しいですが…。◆未だコロナ禍の収束が見えない状況ですが、皆さんのパワーでこの大きな壁を乗り越えましょう。1年間取材などにご協力いただきありがとうございます！(D)

◆今月号で掲載した新型コロナウィルス関連の特集では、さまざまな場所へ取材に行きたくさんのお話を聞かせていただきました。◆「お客様に安心して利用していただくために町内の活気を取り戻したい」「子どもたちに安全な学校生活を送ってほしい」など取材に協力してくださいました方の言葉からはコロナ禍でも前向きに進んでいく強い意志を感じました。◆そんな町内の店舗や小中学校の取り組みが今回掲載した記事を通して1人でも多くの方の安心につながったら私も嬉しいです。◆今年、コロナ禍で日々変化する情報や行事の中止などにより記事の構成に悩むこともありましたが、無事に年内最後の発行を迎えることができました。本年も取材などにご協力いただきありがとうございます！(M)